

第5学年 国語科学習指導案

日時 平成17年10月20日(木)
時間 第3校時(10:35~11:20)
場所 5年2組(南舎3階)
児童 男子18名 女子19名 計37名
授業者 水野 美里

1. 単元名 人物の考え方や生き方をとらえよう
2. 教材名 「わらぐつの中の神様」 (物語) 杉 みき子

3. 指導の立場

(1) 単元について

この単元では人物の考え方や生き方をとらえることが課題である。物語の中の登場人物の言葉、行動、描かれている風景からそれらを読み取ることがこの単元で学習することである。この物語は、「おばあちゃん」が孫の「マサエ」に「おみつさん」と「大工さん」の話聞かせ、話の中の心の触れ合いを通して、「マサエ」の考え方が変化していく話である。なぜ考え方が変わっていったのかを、「おみつさん」と「大工さん」の考え方や生き方をつかむことを通して学ぶことができる。

この物語のキーワードは『外見』と『中身』の比較をとらえることができる。『外見』でわらぐつを嫌がる「マサエ」に対して、あつたかくて神様がいるんだと『中身』を話す「おばあちゃん」。また、『外見』より『中身』の人柄の「おみつさん」がその様なわらぐつを編んでいき、そんなわらぐつを作る「おみつさん」の『中身』に共感し、惚れていく「大工さん」が描かれていく。話を聞いた「マサエ」もまた『中身』を思う気持ちへと変化していく。単に恋物語ではなく、人物の『中身』に触れることができる心温まる物語であると言える。

今の子どもたちはまさに「マサエ」の様に『外見』にとらわれ、『中身』を見て物事をとらえたり、人と関わったりすることがなかなかできない。しかし、考え方や生き方を『中身』でとらえていくことは本質を見抜いていくことであり、子どもたちにもその様な大人になってほしいと願う。

この教材を通して、本文の表現を根拠にして読み取るという学び方を身につけ、さらに物語のメッセージを自分自身にも返してとらえられる様な学習へと結び付けていきたいと考えている。

(2) 児童の実態

国語に関する事前の調査では、(国語は好き...15人、物語は好き...23人、書くことが好き...10人、書くことが苦手...25人、話すことが好き...13人、話すことが苦手...9人)という結果であった。

話すことに関しては、一学期から授業を含めた様々な活動の中で自分の意見を伝えることに力をいれてきた。その結果少しずつ話すことができる子や発言することに努力する子が増えた。しかしまだまだ発言することに関して不安が大きく、話し方にも不安をもった子が見られる。書くことに関しては、全単元「大造じいさんとがん」の教材で物語の読み取りを行い、書き方が分かると長く自分の言葉で書くことができるようになったが、使う語彙が少なく、「いい。」「すごい。」といった表現でまとめてしまいがちである。

4. 研究主題とのかかわり

研究テーマ 学び方が分かり、仲間と考えを高め合える子の育成をめざして

「学び方が分かる」ために

(1) 課題を明確にする

単元を貫く（大課題）と毎時間ごとの（学習課題）を単元の初めに設定し、見通しをもって学習を進めていく。これは、前後のつながりや物語の初めと終わりの変化に気づく手立てとなり、何のためにこの一時間を学ぶのかを子どもたちにつかめせる。・・・ 単元を通しての学習の流れが分かる

(2) 学習パターンを設定する

課題をつかむ 一人読みをする 全体交流でさらに深める まとめる という一連の学習の流れを定着させ、子どもたちが安心して自ら学習を進める手立てにする。・・・ 学習の具体的な進め方が分かる

(3) 根拠を明確にして考えをもつ

人物の考え方や生き方をとらえるために、本文の表現を根拠にする方法をつかませる。思いこみの読みではなく、自分の考えが本文の表現からのものであることをはっきりさせる。物語の読み方を定着させ、自分の考えをもたせる。・・・ 物語の学び方が分かる

「仲間と考えを高め合える子の育成」のために

仲間の考えたことを全体交流の場面で聞くことによって、一人読みではつかめなかった部分を見つけたり、さらに深く物語を読ませたりする。一人でじっくり学習する（一人読み）が基本の学習であるが、仲間の考え方を自分の考えづくりに取り入れていこうとする学習姿勢を育てる。

5. 本研究にかかわって（学習の進め方）

(1) ねらいをもって学習に取り組む

ふりかえり	前の学習までで分かったことを今日の学習につなげるためにおこなう。
音読	声に出して、一つ一つの言葉をじっくり読むためにおこなう。
一人読み	教科書の言葉から根拠を見つけるためにおこなう。
全体交流	仲間の考えを自分の考え作りに取り入れるためにおこなう。
まとめ	自分の言葉で今日の課題をつかむためにおこなう。
評価	自分の学習をふりかえり、ステップアップするためにおこなう。

(2) 自己評価（学習・態度）の扱い

態度に対する評価・・・単元の初めに目指す学習の姿を子どもたち自身に設定させる。

（発言・聞き方・書き取り） A B C それに基づいて評価する。

課題に対する評価・・・本時の課題に対して自分の考えをもち、課題を理解することができたかを自己評価する。 A B C それに担任の個別評価を加え、自己評価と比べることによって自分自身の評価をつかみ、ステップアップさせる。

6 単元指導計画 (全10時間)

時	ねらい	主な学習活動	評価規準	評価方法	評価の手だて
1	全文を読んだ感想を持ち、これからの学習の見通しを持つことができる。	感想を書こう <ul style="list-style-type: none"> ・わらぐつを見てイメージをもつ。 ・第一感想を書く。 ・個人評価をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・3つの視点をおさえて感想を書くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ノート 	感想は分かったこと・思ったこと・知りたいことの3つの観点で書かせる。
2	第一感想から単元を貫く課題をつかみ、学習の道筋をつかむことができる。	学習課題を見つけて、学習の道筋をつかもう <ul style="list-style-type: none"> ・感想を元に課題見つけを行う ・登場人物の心の通い合いと人柄に着目する。 ・個人評価をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・3つの場面の内容を大まかにつかみ、学習の道筋がわかる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ノート ・発表 	マサエ、おみつさん、大工さんの心の変化がおきる様子に着目させる
4	わらぐつを外見で嫌うマサエとあったかいと中身を大事に思う二人の考え方の違いをつかむ。	わらぐつに対するおばあちゃんとマサエの考え方とそこからわかる二人の人柄を読み取ろう <ul style="list-style-type: none"> ・二人の考えの違いを読み取る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> マサエ・・・みったぐない おばあちゃん・・・あったかい 神様がいる </div> <ul style="list-style-type: none"> ・まとめを書く。 ・個人評価をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本文を根拠にしてわらぐつに対するおばあちゃんとマサエの考え方をとらえる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ノート ・発表 	(キーワード) マサエ・・・外見 おばあちゃん・・・中身
5	どうしても雪げたが欲しいが贅沢やわがままはできないと思うおみつさんの気持ちをつかむことができる。	おみつさんの人柄と雪げたに対するおみつさんの思いを読み取ろう <ul style="list-style-type: none"> ・おみつさんの人柄を知る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 特別きれいというわけではないが、体が丈夫で気立てがやさしく、いつもほがらかにくるくと働く娘 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・本文の表現からおみつさんが雪げたが欲しい気持ちをつかむ。 ・まとめを書く。 ・個人評価をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・おみつさんのどうしても雪げたがほしい思いに共感してまとめを書くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ノート ・発表 	(キーワード) おみつさん・・・中身
6 (本時)	使う人のことを考え心を込めてわらぐつを作るおみつさんの気持ちや人柄をつかむことができる。	わらぐつを編んでいるおみつさんの気持ちとそこからわかる人柄を読み取ろう <ul style="list-style-type: none"> ・心をこめて使い手の事を考えてわらぐつを作るおみつさんの気持ちをつかむ。 ・おみつさんの人柄を考える。 ・まとめを書く。 ・個人評価をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・おみつさんのわらぐつ作りへの思いとおみつさんの人柄の2点を入れたまとめを書くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ノート ・発表 	(キーワード) わらぐつ・・・中身 おみつさん・・・中身

7	おみつさんの中身を大切にしている気持ちと外見で見る客を比較しながら読み取ることができる。	<p>(初めて自分のわらぐつを売った時のおみつさんの気持ちを読み取る)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・きっと売れると思っているおみつさんの気持ちをつかむ。 ・まとめを書く。 ・個人評価をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中身を大切にしているおみつさんはきっとわらぐつは受け入れられると信じていることが分かり、まとめを書ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ノート ・発表 	<p>(キーワード)</p> <p>わらぐつ・・・中身 おみつさん・・・中身 お客・・・外見</p>
8	中身を大事にする大工さんとおみつさんの考え方が似ているからこそ惹かれたのだと気づくことができる。	<p>(大工さんはなぜなぜおみつさんのわらぐつを買ったのだろう)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大工さんがどのようにわらぐつを見ていたのかをつかむ。 ・本文から大工さんの仕事への真面目な思いをつかむ。 ・大工さんの人柄を考える。 ・まとめを書く。 ・個人評価をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大工さんの仕事への思いと真面目な人柄がおみつさんの生き方と似ているところに惹かれていったことをまとめに書くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ノート ・発表 	<p>(キーワード)</p> <p>わらぐつ・・・中身 おみつさん・・・中身 大工さん・・・中身</p>
9	おばあちゃんの話聞いて大切な物には神様が宿ると気持ちの変化したことに気づくことができる。	<p>おばあちゃんの話聞いて、マサエの気持ちはどう変わったろう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一場面のマサエの言葉と比較してつかむ。 ・雪げたに対するマサエの考え方をつかむ。 ・まとめを書く。 ・個人評価をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一場面と3場面マサエの気持ちの変化を、2場面のおばあちゃんの話をもとにしてまとめを書くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ノート ・発表 	<p>一場面のマサエの表現と比較させて、気持ちの変化をさぐる。</p> <p>(キーワード)</p> <p>マサエ・・・外見 中身</p>
10	わらぐつの中の神様から学んだことをおみつさんやマサエの気持ちなどを根拠にしながら自分に返して思いを書くことができる。	<p>わらぐつの中の神さまから学んだことを書こう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本文を振り返り、自分の思いを書く。 ・全体交流で仲間の思いを聞く。 ・単元をふりかえり全体評価をする。 ・個人評価をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の生き方や考え方と自分自身の思いを対比させながら、自分に返して書くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ノート ・発表 	<p>キーワードの外見と中身について自分なりに考えることを書かせる。</p>

7 本時のねらい

本文中の言葉を根拠にして、はく人のことを思い、心をこめてわらぐつを作るおみつさんの気持ちを読み取り、おみつさんの中身を大切に人柄も含めて自分の言葉でまとめを書くことができる。

8 本時の展開 (6/10時間)

	おもな学習活動	指導上の留意点	指導・援助
つかむ	1. おみつさんが外見より中身の人柄であることと、どうしても雪げたがほしかった気持ちを確認するため前時までの学習の振り返りをする。	・おみつさんの雪げたへの思いを確認する。 おみつ...中身	・学習の足跡をまとめて掲示してふりかえりの手立てにする。
	2. おみつさんの気持ちと人柄に着目してすぐに一人読みに取り組むために音読する。	・姿勢のいい子や声の大きさのいい子にシールを渡して評価する。	・音読の視点を与える。 (おみつさんの気持ちと人柄に着目して読む)
	3. 課題をもつ。 (課題) わらぐつを編んでいるおみつさんの気持ちとそこからわかる人から読み取ろう		
ふかめる	4. 本文の表現を根拠に考えを持つために、おみつさんのわらぐつ作りへの思いが書かれている部分に線を引き、そこから分かる事を書く。	・線を引いた部分を根拠に分かったことを書かせる。 ・学習が早い子、根拠をもとに分かったことを書いている子に自信をもたせるためにシールを渡して評価する。	【分かった事が書けない子に対して】 ・おみつさんの気持ちと人柄が書かれている部分に自分の感想をもたせてそれを書かせる。
	5. 仲間の考えを取り入れるために全体交流をする。 おみつさんは少しくらい格好が悪くても、はく人のことを思い心を込めてわらぐつを編んでいる。 仲間の意見で取り入れたいことをノートにとる	・発表の仕方として ～の部分から、～と思いました。	・ノートへの書き込みが遅れる子やまとめ作りの手立てにするために子どもの発言を板書して残しておく。
まとめる	6. おみつさんの人柄への問い返し発問 「なぜおみつさんはこの様なわらぐつを作ったのだろう」 ・中身を大切に人柄だからこの様なわらぐつが作れた。<キーワード> わらぐつ...中身 おみつ...中身	・おみつさんの人柄を見つけている子がいればその子の気づきを取り上げる。 ・注目する2点を意識してまとめを聞かせる。	【まとめが書けない子に対して】 ・交流でわかったことをつなぎ合わせてまとめさせる。
	7. 課題に対する自分の考えをはっきりさせるためにまとめを書く。 格好が悪くてもはく人の事を思い心を込めてわらぐつを作るおみつさんは、やはり外見より中身を大切にすてきな人だなあ。	【評価規準】 おみつさんのわらぐつ作りへの思いとおみつさんの人柄の2点を入れてまとめが書ける。	
	8. いろいろなまとめ方があることを知るために仲間の発表を聞く。		
	9. 本時の学習をふりかえり、自分のステップアップにつなげるために個人評価をする。		